

事務事業名			被服等貸与事業			実施計画登載事業			合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	03安全なまちづくりの推進				事業期間			予算科目				
	施策名	08消防・救急・救助体制の充実							会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02消防体制の充実				単年度のみ 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～) 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 全体計画欄の総投入量を記入			01	09	01	02	11
根拠法令		大船渡市消防団規則											
所 属	部課名	大船渡消防署											
	係 名	消防団係	電話	27-2119									
		内線	33										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ)							
・消防団員の消防活動を行う上で安全かつ機能的な服装を確保するために、半纏、ヘルメット、半長靴、雨衣、防寒衣等を大船渡市消防団規則に基づく支給計画で貸与する。 ・毎年、新入団員分、現団員分と分けて購入、貸与している。 ・事業費は、消耗品として支出される。						総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金				
									都道府県支出金				
									地方債				
									その他				
									一般財源				
							事業費計 (A)		0				
人件費	正規職員従事人数												
	延べ業務時間												
	人件費計 (B)		0										
							トータルコスト(A) + (B)		0				0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 新入団員へは半纏一式、作業衣一式、アポロキャップ、半長靴を貸与し、現団員へは半長靴、ヘルメット更新、防寒衣、雨衣等計画貸与する。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様		名称	単位
		ア 新入団員分被服購入数	着
		イ 現団員分被服購入数	着
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 消防団員		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		カ 消防団員数(新入団員)	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・安全で活動しやすい被服を貸与し、出火時的確な消火活動ができる。 ・消防団員の服装を活動的にし、組織の統制及び活動を図る。		キ 消防団員数(現団員) 上記新入団員は除く	人
		ク	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・出火時に的確な消火活動ができる。 ・災害時に的確な消防活動ができる。		名称	単位
		サ 新入団員への被服貸与率	%
		シ 現団員への被服更新率(単年)	%
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (目標)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
		単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円					
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	4,155	4,500	11,037	4,500	11,037	4,169
		事業費計 (A)	千 円	4,155	4,500	11,037	4,500	11,037	4,169
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時 間	720	720	720	720	720	720
		人件費計 (B)	千 円	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880
		トータルコスト(A) + (B)	千 円	7,035	7,380	13,917	7,380	13,917	7,049
活動指標	ア	着	59	55	48		55	36	
	イ	着	321	176	191		152	0	
	ウ								
対象指標	カ	人	59	55	48		55	36	
	キ	人	1071	1034	1063		1060	993	
	ク								
成果指標	サ	%	100	100	100		100	100	
	シ	%	30		18		14	0	
	ス								

事務事業ID	1104	事務事業名	被服等貸与事業
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

出火時に的確な消火活動を行うため、消防団が組織された時から行っている。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・機能的で安全が確保されるようなものになってきている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

被服の更新を計画的に行って欲しい。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] ・被服を貸与することは消防団組織の統制を図り、団員の意識を高揚し、消防力の充実に結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] ・行政以外の関与は考えられない。 服制基準に定められている。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] ・服制基準に定められており、初任団員、現団員の対象、意図については妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] ・被服貸与規程に基づき計画的に更新すべきであるが、予算が不足である。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 初任団員はもとより現団員へは入団時の貸与と計画的な更新が必要であり、出火時に的確な消火活動ができなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 消防団活動には、その活動内容と組織の規律維持などのため機能的で所属が分かる服装が必要であり、服装貸与事業に類似事業はない。全国統一されている。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 被服貸与規程に定められている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 現在、1～2名で担当しており、時間削減はできない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 消防団活動に必要な被服は市で貸与するべきである。

事務事業ID	1104	事務事業名	被服等貸与事業
--------	------	-------	---------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	新入団員数が50～60人あるので、現在60人で予算計上している。現団員については、予算が不足して計画的に更新できない。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 被服貸与規程により貸与や更新をすべきであり、常に改善に意をはらうべきである。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 予算の増額。																							

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	大船渡消防署長
-------	---------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

消防団の消防力向上のためには必要な事業である。適正な事務執行がされている。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持
 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

消防団の活動がより機能的で且つ安全であるためには伝統ある半纏支給は維持しつつも、随時防火衣や活動服等の内容や支給状況等を改善していく必要がある。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			●
	維持			
	低下			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項